

令和7年度 岩手県立紫波総合高等学校経営計画

校長：大 木 由 里

1 校訓・教育目標		～生徒が希望に燃え、明るく、地域から信頼され続ける学校づくり～ 校 訓：「知を求め こころ豊かに たくましく」 教育目標：1 人間としての生き方を考え、生涯にわたり学び続けようとする意欲を育てる。 2 正しく判断し、他者を尊重しながら自己実現を目指そうとするところを育てる。 3 将来の職業や生活を見通し、人生をたくましく切り拓こうとする力を育てる。 4 持続可能な社会のために、自己及び社会の課題解決に向け努力する人間を育てる。	
2 ス ク ー ル ・ ポ リ シ ー	(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	・問いを立て、解決の手立てを見いだせる力を育成します。 ・他者と協働できる力を育成します。 ・多様な価値観を尊重できる力を育成します。 ・自らを律することができる力（基本的生活習慣の定着、整容を正す、規則の順守等）を育成します。	
	(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	・筋道立てて考える力を育てるために、基礎学力の定着を図ります。 ・課題探究能力の育成を図るために、「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」「卒業研究」を体系づけて学習します。 ・地域の産業振興を踏まえ、系列の特性を生かす形で岩手県立大学・岩手県立農業大学校、地方振興局等と連携し、高度で専門的な分野を学びます。 ・地域貢献を念頭に、紫波町・オガールとの連携を密にし、地域の人材を活用した学びや体験的な学びを実践します。	
	(3) 入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	・好奇心旺盛で、課題解決を目指す探究心に厚い生徒 ・コミュニケーションを大切に（他者を認めて相手に寄り添える）生徒 ・失敗を恐れず、チャレンジ精神で物事に取り組み、ゴールに向けて努力を惜しまない生徒 ・生まれ育った地域（岩手県や紫波地域）について学びを深めたい生徒。	
3 魅力化協働パートナー		紫波町 株式会社オガール 株式会社岩手バレーボールコミッション 紫波町内各中学校	
4 目 指 す 学 校 像	(1) 今年度の重点目標	重点目標	達成指標
		ア 学習指導の充実 常に授業力の向上に努め、社会が求める基礎学力と学習習慣の定着を図る。	・学校評価の生徒対象アンケートで「先生方は、わかりやすく、力のつく授業を行っている」と答えた生徒の割合【90%以上】
		イ 生徒指導の充実 実効的に機能する「学校いじめ対策組織」を構築し、組織的にいじめの未然防止・適切な対処に当たる。	・学校評価の生徒対象アンケートで「本校のいじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止・早期発見の取組がなされている」と答えた生徒の割合【80%以上】
		ウ 進路指導の充実 生徒の希望を生かした進路実現のため、進路指導力の向上に努める。	・進路目標達成【95%以上】
		エ 保護者・地域との連携 保護者・地域と連携し、期待に応え、貢献することによって信頼され続ける学校にする。	・学校評価の保護者対象アンケートで「学校は、家庭との意思疎通やPTAとの連携を図っている」と答えた保護者の割合【90%以上】

		オ 開かれた学校づくりの推進 学校の「魅力」を外部へ積極的に発信する。	・ 学校説明会参加者数 【150 名以上】
		カ 不適切な指導の根絶 生徒を個人として尊重し、不適切な指導を根絶する体制を組織として構築する。	・ 学校評価の生徒対象アンケートで 「先生方は、厳しく指導しながらも、良いところを褒めたり認めたりしながら接してくれる」と答えた生徒の割合 【80%以上】
(2) 取組方針	ア 学習指導の充実を図るための取組 (ア) ユニバーサルデザイン授業やアクティブラーニング、全教職員による I C T 機器の活用 (イ) 目標に準拠した観点別評価の実施 (ウ) 計画的な課題による家庭学習習慣の定着 (エ) 資格取得目標の設定と積極的な挑戦 (オ) 授業公開や授業研究会への年 1 回以上の研修参加 (カ) 実力テストでの正答率の向上 (キ) 「情操・健康教育」「主権者教育」「復興教育」の取組		
	イ 生徒指導の充実を図るための取組 (ア) 基本的生活習慣の確立（挨拶、整容、マナー、清掃）、問題行動ゼロ (イ) 「生活に関するアンケート」（年 3 回）、保護者アンケート（年 2 回）等によるいじめの早期発見と解消に向けた対処 (ウ) 部活動・対外活動の活性化（目標設定の共有、リーダーの育成、奉仕の精神、自己肯定感や自己有用感の向上） (エ) 一人ひとりの生徒理解と支援に配慮した指導（心身の健康管理と相談体制の確立、通級による指導の実施）		
	ウ 進路指導の充実を図るための取組 (ア) 自己実現の志を育み、個々の進路目標を早期に確立させる (イ) 就業への理解と意識を高める（インターンシップ、企業見学） (ウ) 職業講話、進路ガイダンスの充実と情報発信 (エ) 各種個別指導の充実（小論文、面接、添削） (オ) 社会人としての基礎力を養う（コミュニケーション能力、協調性、忍耐力）		
	エ 保護者・地域との連携を図るための取組 (ア) 学校運営協議会、地域・保護者からの要望や課題に対応する (イ) 地域の行事や諸事業に積極的に参加し、相互理解と交流を深める		
	オ 開かれた学校づくりの推進を図るための取組 (ア) 「ソーシャルスキル基礎」「総合的な探究の時間」「各系列の授業」における地域資源の活用（地域理解、思考、発信） (イ) 学校案内、学校通信、ホームページ、SNS 等による情報発信 (ウ) 中学生学校説明会や高校説明会で中学生や保護者に本校総合学科の理解を図る		
	カ 不適切な指導の根絶を図るための取組 (ア) 全教職員等が子どもの権利条約等についての理解を深め、生徒の人権を尊重した指導を行う (イ) 不適切な指導の根絶に向けた校内研修を実施する		